

事業シート(平成29年度決算)

事業名	20900 総合計画推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	6	協働・行政	市長公約
			款	2	総務費		個別分野	3	行財政運営	
			項	1	総務管理費		施策概要	1	効率的・効果的な行政運営の推進	
			目	9	企画費		根拠計画	まち・ひと・しごと創生総合戦略		
担当課	企画課・ブランド戦略課・海外戦略課	内線	2434							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 総合計画に基づく計画的な行政運営を着実に推進する。 近隣自治体と連携して共通する課題に取り組む。 年齢、性別、障がいの有無などに関わらず誰もが安心して暮らせる環境を整える。 地方創生を推進する。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 市民アンケート、事業評価、実施計画ローリング等により総合計画の進捗管理を行う。 県及び飛騨3市1村が連携して飛騨・世界生活文化センター活用推進協議会事業を実施する。 ユニバーサルデザインに配慮された施設の認定や啓発資料の活用等により、誰にもやさしいまちづくりを推進する。 まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく各種事業の推進及び評価・検証を行う。
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	H28実績	H29実績	H31目標
事業評価の実施	370事業	376事業	-
誰にもやさしいまちづくり条例に基づく認定件数(累計)	56件	59件	70件

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H28			H29		
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	38,238	33,581	22,184	22,184	19,547	△ 14,034
特定財源						
国費 (飛騨地域創生連携事業費 1/2)	28,100	24,076			4,771	△ 19,305
県費 ()						
その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金)			4,800	4,800	2,500	2,500
一般財源	10,138	9,505	17,384	17,384	12,276	2,771
個票枝番	主な事業内容					
◎ 1	飛騨地域創生連携協議会負担金					
	28,100	24,076	12,100	12,100	10,223	△ 13,853
	総合計画の推進					
	264	182	264	264	146	△ 36
	誰にもやさしいまちづくりの推進					
	110	55	110	110	64	9
	飛騨・世界生活文化センター活用推進協議会負担金					
	7,900	7,823	7,900	7,900	7,754	△ 69
	地方創生に関する有識者会議					
	370	135	370	370	230	95
	児童生徒等の重大事態調査委員会					
	高山駅西地区のまちづくり検討					

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成30年度予算編成(Action)

(千円)

H30		実施計画額		45,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
38,865	35,987	40,987	18,803	
6,150	5,360	5,360	5,360	
			0	
	3,700	3,700	△ 1,100	
32,715	26,927	31,927	14,543	
査定額	説明			
12,300				
10,804				
3,830				
7,900				
370				
165				
5,000				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 総合計画審議会の開催(1回)、市民アンケートの実施、事業評価の実施、実施計画のローリング 飛騨・世界生活文化センター活用推進協議会事業に44,501人が参加・来場 誰にもやさしいまちづくり推進会議の開催(1回) 誰にもやさしいまちづくり条例に基づきユニバーサルデザインに配慮された4施設を認定 市内小学6年生を対象に誰にもやさしいまちづくり学習資料を作成・配付 地方創生に関する有識者会議の開催(2回) 総合教育会議の開催(5回)、教育大綱の策定
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 市民アンケート、事業評価、実施計画ローリング等により総合計画の進捗管理を行った。 より効果的な事業評価の実施について検討する必要がある。 誰にもやさしいまちづくり推進指針の見直し等について検討する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 総合計画に掲げる各種施策を着実に推進できるよう進捗管理を行う。 より効果的な事業評価を検討する。 誰にもやさしいまちづくり推進指針の見直し等を進める。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H29完了予定

5.平成29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 総合計画審議会の開催(1回)、市民アンケートの実施、事業評価の実施、実施計画のローリング 飛騨・世界生活文化センター活用推進協議会事業に58,607人が参加・来場 誰にもやさしいまちづくり推進会議の開催(1回) 誰にもやさしいまちづくり条例に基づきユニバーサルデザインに配慮された3施設を認定 市内小学6年生を対象に誰にもやさしいまちづくり学習資料を作成・配付 地方創生に関する有識者会議の開催(3回) 総合教育会議の開催(3回)、高山市児童生徒等の重大事態調査委員会設置条例の制定
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 市民アンケート、事業評価、実施計画ローリング等により総合計画の進捗管理を行った。 決算から予算に運動した審査資料となるよう事業シートを見直した。 誰にもやさしいまちづくり推進指針の見直し等の進め方について方針決定を行った。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 総合計画の中間見直しを進める。 誰にもやさしいまちづくり推進指針等を見直しを進める。 高山駅西地区のまちづくり検討を進める。
	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

施策の実施方針	<ul style="list-style-type: none"> 総合計画の推進 誰にもやさしいまちづくりの推進 いじめ対策の推進 駅西地区のランドデザイン
担当課 予算要求ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 総合計画中間見直しに向けた調査に要する経費を計上 誰にもやさしいまちづくり推進指針等を見直しに要する経費を計上 児童生徒等の重大事態調査にかかる体制整備に要する経費を計上

財務部 査定の考え方	<ul style="list-style-type: none"> 積算内容を精査
市長査定 の考え方	<ul style="list-style-type: none"> 高山駅西地区のまちづくり検討に要する経費を計上

主要事業個票(平成29年度決算)

事業名	20900 総合計画推進事業費	区分	<input type="checkbox"/> H29新規	<input type="checkbox"/> H30新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	企画部 ブランド戦略課
枝番・内容	1 飛騨地域創生連携協議会負担金		<input type="checkbox"/> H29拡充	<input type="checkbox"/> H30拡充		款	2	総務費		海外戦略部 海外戦略課
			<input checked="" type="checkbox"/> その他重要事業			項	1	総務管理費	内線	2278
			<input type="checkbox"/>			目	9	企画費	作成年月	H30.8

事業の目的・概要(Plan)

目的	・近隣自治体と連携して共通する課題に取り組む。	概要	・飛騨地域3市1村及び県で飛騨地域創生連携協議会を構成し、飛騨地域における地方創生の推進に向けた事業を実施する。
----	-------------------------	----	--

【参考】H28決算(Do-Check) H29.8時点 (千円)

予算額	当初	0
	繰越	28,100
	補正等	0
	最終	28,100
決算額		24,076
対前年度増減額(決算)		5,924

【参考】H29当初予算(Action) H29.3時点 (千円)

予算額	当初	12,100
主な経費	・飛騨地域創生連携協議会負担金	
	対前年度増減額(当初予算)	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

H29決算(Do-Check) H30.8時点 (千円)

予算額	当初	12,100
	繰越	0
	補正等	0
	最終	12,100
決算額		10,223
対前年度増減額(決算)		△ 13,853

H30当初予算(Action) H30.5時点 (千円)

予算額	当初	12,300
主な経費	・飛騨地域創生連携協議会負担金	
	対前年度増減額(当初予算)	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績・評価等	
[事業実績]	<ul style="list-style-type: none"> ・飛騨地域ツーリズム推進連携事業(海外戦略課) コルマル国際観光旅行博への出展 トップセールスの実施 ・外国人観光客受入体制強化事業(海外戦略課) 地域通訳案内士の養成 英語34名 など 外国人観光客動態調査 ・北陸幹線誘客促進事業(観光課) 飛騨めぐりフリーきっぷの企画販売 ・飛騨地域移住・定住促進連携事業(ブランド戦略課) 首都圏でのイベント開催 4回 移住者受入研修の実施 2回 移住前支援研修と移住体験ツアーの実施 2回 移住者交流イベントの開催 2回 など
[評価]	<ul style="list-style-type: none"> ・飛騨地域が連携して取り組むことにより、多彩な魅力をPRすることが可能となり、飛騨地域への外国人をはじめとした観光客の来訪や移住・定住の促進につながった。 ・飛騨地域各市村との連携強化や効率的な事業執行が図られた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・広域連携による地方創生の推進に向けて、内容を精査しつつ、引き続き事業を実施する。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H29完了予定

事業内容・スケジュール	
[事業内容]	<ul style="list-style-type: none"> ・飛騨地域ツーリズム推進連携事業(海外戦略課) 海外旅行博等への出展 ・外国人観光客受入体制強化事業(海外戦略課) 地域通訳案内士の養成 など ・飛騨地域移住・定住促進連携事業(ブランド戦略課) 移住フェア セミナー等の開催 移住コーディネーターの育成 など
[スケジュール]	<ul style="list-style-type: none"> ・飛騨地域ツーリズム推進連携事業(海外戦略課) H29年7月 フランス・パリ ジャパンエキスポ出展 H29年11月 フランス・コルマル国際観光旅行博出展 ほか ・外国人観光客受入体制強化事業(海外戦略課) H29年9月～11月 地域通訳案内士養成講座・口述試験の実施 ・飛騨地域移住・定住促進連携事業(ブランド戦略課) H29年10月、12月、2月 課題解決セミナーの実施(東京) H30年1月 移住フェア出展(JOIN移住フェア/東京) H30年3月 移住コーディネーター育成ワークショップ(4市村各1回実施)

事業実績・評価等	
[事業実績]	<ul style="list-style-type: none"> ・飛騨地域ツーリズム推進連携事業(海外戦略課) ジャパン・エキスポへの出展 コルマル国際観光旅行博への出展 コルマル・クリスマスマーケットへの出展 ・外国人観光客受入体制強化事業(海外戦略課) 地域通訳案内士の養成 中国語12名 など ・飛騨地域移住・定住促進連携事業(ブランド戦略課) 移住フェアへの出展 飛騨地域の民間事業者課題解決セミナーの開催 3回 首都圏での移住促進イベントの開催 1回 移住コーディネーターの育成 など
[評価]	<ul style="list-style-type: none"> ・飛騨地域が連携して取り組むことにより、多彩な魅力をPRすることが可能となり、飛騨地域への外国人をはじめとした観光客の来訪や移住・定住の促進につながった。 ・飛騨地域各市村との連携強化や効率的な事業執行が図られた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・広域連携による地方創生の推進に向けて、内容を精査しつつ、引き続き事業を実施する。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

事業内容・スケジュール	
[事業内容]	<ul style="list-style-type: none"> ・飛騨地域ツーリズム推進連携事業(海外戦略課) フランス・ドイツマーケットへのセールス ・外国人観光客受入体制強化事業(海外戦略課) 地域通訳案内士の養成 など ・飛騨地域移住・定住促進連携事業(ブランド戦略課) 仕事探しサイトの開設 移住フェア等への出展 セミナー等の開催 など
[スケジュール]	<ul style="list-style-type: none"> ・飛騨地域ツーリズム推進連携事業(海外戦略課) H30年11月～1月 フランス・コルマル国際観光旅行博 H31年1月 ドイツ・シュトゥットガルト国際観光旅行博 ほか ・外国人観光客受入体制強化事業(海外戦略課) H30年9月～12月 地域通訳案内士養成講座 ほか ・飛騨地域移住・定住促進連携事業(ブランド戦略課) H31年2月 仕事探しサイト開設 H30年9月 移住フェア出展(ふるさと帰郷フェア/東京) H30年11月 課題解決セミナーの実施

事業シート(平成29年度決算)

事業名	20930 大学連携推進事業費				予算	会計	1	一般会計	総 合 計 画	基本分野	6	協働・行政	市長公約	・高山市と協定を結んでいる大学などとの連携を強化しながら、希望する誰もが、高山市で大学の授業が受けられるサテライトキャンパスの設置に取り組みます。また、将来的には、遊休施設などを活用した大学誘致を目指します。
	款	2	総務費	個別分野		3	行財政運営							
	項	1	総務管理費	施策概要		1	効率的・効果的な行政運営の推進							
	目	9	企画費	根拠計画										
担当課	企画部 企画課	内線	2434											

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 大学との連携の強化を図り、若者(市外学生)のUIターンや地元定着を促進する。 大学の持つ高度かつ専門的な知見を活用し、当市における政策形成能力を向上させる。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 大学連携センターの設置・運営に対する助成 大学連携センターへの調査研究業務の委託 連携大学等との検討会議の開催 連携大学等が活用できるサテライトキャンパスの設置・運営
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	H28実績	H29実績	H31目標

2.事業の実施結果等(Do)

		H28		H29			(千円)
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		4,000	1,062	17,000	17,000	15,062	14,000
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金)	400	600	2,800	2,800	4,300	3,700
一般財源		3,600	462	14,200	14,200	10,762	10,300
個票枝番	主な事業内容						
◎ 1	大学連携センターに対する助成			9,500	9,500	7,826	7,826
◎ 2	大学と連携した調査			5,000	5,000	5,000	5,000
	サテライトキャンパスの設置・運営	1,540	208	2,050	2,050	1,962	1,754
	大学連携アドバイザーの設置	360	360	0	0	0	△ 360

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成30年度予算編成(Action)

		H30	実施計画額	17,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
15,740	15,700	15,700	△ 1,300	
			0	
			0	
	2,100	2,100	△ 700	
15,740	13,600	13,600	△ 600	
査定額	説明			
8,600	センター運営経費			
5,000				
1,980				
0				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 大学連携アドバイザーを委嘱 連携大学等(8大学)を招へいし、平成29年3月に検討会議を開催 連携大学等が活用できるサテライトキャンパスを設置(飛騨・世界生活文化センター内)
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 大学連携アドバイザー及び連携大学等からの指導・助言等により、大学連携センター(独立型の専門的機関)設置の方針を打ち出すことができた。 学長クラスが高山で一室に会する機会の創出により、連携大学等との一層の関係強化を図ることができた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 維持・改善 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H29完了予定

5.平成29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年6月、一般財団法人飛騨高山大学連携センターを設立 大学活動を誘致する大学コミッション事業により32大学、約1,000人の大学教授や学生を受け入れ 連携大学等(11大学)を招へいし、平成30年2月に大学連携会議を開催
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 大学連携センターによる大学活動への支援により、多くの大学教授や学生を高山へ呼び込むことができた。 大学と連携した調査研究により、地域の魅力向上に向けた取り組みを進めることができた。 学長クラスが高山で一室に会する機会の創出により、連携大学等との一層の関係強化を図ることができた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

施策の実施方針	<ul style="list-style-type: none"> 大学連携の推進
担当課 予算要求ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 大学連携センターの運営に必要な経費を計上
財務部 査定の考え方	<ul style="list-style-type: none"> 積算内容を精査
市長査定 考え方	<ul style="list-style-type: none"> 財務部査定のとおり

主要事業個票(平成29年度決算)

事業名	20930 大学連携推進事業費	区分	<input type="checkbox"/> H29新規	<input type="checkbox"/> H30新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	企画部 企画課
枝番・内容	1 大学連携センターに対する助成 2 大学と連携した調査		<input checked="" type="checkbox"/> H29拡充	<input type="checkbox"/> H30拡充		款	2	総務費		
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		1	総務管理費	内線	2434	
		<input type="checkbox"/>		目		9	企画費	作成年月	H30.8	

事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 大学との連携の強化を図り、若者(市外学生)のUIJターンや地元定着を促進する。 大学の持つ高度かつ専門的な知見を活用し、当市における政策形成能力を向上させる。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 大学連携センターの設置・運営に対する助成 大学連携センターへの調査研究業務の委託 連携大学等との検討会議の開催 連携大学等が活用できるサテライトキャンパスの設置・運営
----	--	----	--

[参考] H28決算(Do-Check) H29.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

[参考] H29当初予算(Action) H29.3時点 (千円)

予算額	当初	14,500
主な経費	<ul style="list-style-type: none"> 大学連携センターに対する助成 大学と連携した調査 	
	対前年度増減額(当初予算)	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

H29決算(Do-Check) H30.8時点 (千円)

予算額	当初	14,500
	繰越	0
	補正等	0
	最終	14,500
決算額		12,826
対前年度増減額(決算)		12,826

H30当初予算(Action) H30.5時点 (千円)

予算額	当初	13,600
主な経費	<ul style="list-style-type: none"> 大学連携センターに対する助成 大学と連携した調査 	
	対前年度増減額(当初予算)	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績・評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H29完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
<ul style="list-style-type: none"> 大学連携センターの設立センターが実施する事業 <ul style="list-style-type: none"> ①自治体シンクタンク事業(大学連携による政策研究活動等) ②大学コミッション事業(大学活動の誘致・支援) 大学連携センターに対する助成センターの運営、大学活動の誘致・支援などに対する助成 大学と連携した調査賑わいや美しいまちづくりにつながる「まちのデザイン」の構想研究誇りと愛着につながるための「高山学」の実践研究観光関連をはじめ産業を支える「担い手の育成」のしくみ研究 	
[スケジュール]	
6月 大学連携センターの設立	
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

事業実績・評価等	
[事業実績]	
<ul style="list-style-type: none"> 平成29年6月、一般財団法人飛騨高山大学連携センターを設立 中心市街地の活性化や後世に残すべき古い町並にふさわしい景観といった視点から下町を考える「下町まちのデザイン講座」や、地域資源の活用に向けた「久々野地域におけるグローバルビジネス調査」などの調査研究を実施 大学活動を誘致する大学コミッション事業により32大学、約1,000人の大学教授や学生を受け入れ 連携大学等(11大学)を招へいし、平成30年2月に大学連携会議を開催 	
[評価]	
<ul style="list-style-type: none"> 大学と連携した調査研究により、地域の魅力向上に向けた取り組みを進めることができた。 大学連携センターによる大学活動への支援により、多くの大学教授や学生を高山へ呼び込むことができた。 学長クラスが高山で一堂に会する機会の創出により、連携大学等との一層の関係強化を図ることができた。 	
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
<ul style="list-style-type: none"> 大学連携センターに対する助成センターの運営、大学活動の誘致・支援などに対する助成 大学と連携した調査「下町」をモデルとした魅力的なまちのデザインに関する調査研究職業体験やインターンシップなど職業人材に係る担い手育成プログラムの仕組みに関する調査研究飛騨高山大学連携センター独自の視点により地域の課題解決に向けて取り組む調査研究 	
[スケジュール]	
通年 大学連携センターを窓口とした大学活動の誘致 4月 委託契約締結 調査研究の実施 3月 調査研究成果のとりまとめ	
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

事業シート(平成29年度決算)

事業名	21580	ふるさと寄附推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	6	協働・行政	市長公約
				款	2	総務費		個別分野	3	行財政運営	
				項	1	総務管理費		施策概要	4	財政の健全性の確保	
				目	15	ブランド戦略推進費		根拠計画			
担当課	企画部	企画課	内線	2436							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・高山市を応援してくださる方の想い、願いを受け止め、市を特徴付ける主要な事業を推進する。 ・財源確保を図るとともに、贈呈品の発注による地場産品、サービスの販売促進を図り、地域内産業の活性化を図る。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと寄附の申出受付、寄附金の採納 ・ふるさと寄附のPR ・寄附者への贈呈品送付、寄附金の使途等のお知らせ ほか
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	H28実績	H29実績	H31目標

2.事業の実施結果等(Do)

		H28		H29			
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		158,270	154,170	184,750	184,750	123,594	△ 30,576
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他()						
一般財源		158,270	154,170	184,750	184,750	123,594	△ 30,576
個票枝番	主な事業内容						
	ふるさと寄附贈呈品	150,000	146,720	175,000	175,000	115,375	△ 31,345
	ふるさと寄附PR	3,600	3,240	3,800	3,800	3,780	540

4.平成30年度予算編成(Action)

		H30	実施計画額	103,500
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
115,000	116,480	116,480	△ 68,270	
				0
				0
				0
115,000	116,480	116,480	△ 68,270	
査定額	説明			
105,000				
3,800				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと寄附金の採納 9,491件 298,269,001円 ・ふるさと寄附贈呈品送付件数 12,663件 ・ふるさと寄附贈呈品数の拡大(123→192アイテム) ・寄附の増加に向けた取り組み ・ふるさとチョイスの導入、百貨店とのタイアップによるPR ほか 	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H29完了予定
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットから直接寄附申込が可能な環境を整えたことや、多様な媒体でのPRに努めたことなどにより、大幅な寄附金の増につながった。 ・贈呈品として地場産品を取り扱うことにより、地場産品のPRにつながっている。 	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・全国的な競争の過熱等に伴い、国より適正化に向けた通知が示されたことを受け、返礼割合の設定等の見直しが必要となっている。 ・贈呈品については、モノ(特産品)に加え、高山へ来て魅力に直接触れていただくコト(サービス等)の充実を進める。 	

5.平成29年度事業実績、評価等(Check)

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと寄附金の採納 7,672件 275,205,460円 ・ふるさと寄附贈呈品送付件数 10,469件 ・ふるさと寄附贈呈品数の拡大(192→286アイテム) ・H29.10～総務省通知に基づく返礼割合の見直し(5割→3割) 	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・返礼割合の見直しの影響により寄附金は減少傾向にある。 ・より効果的なPR、クラウドファンディングや企業版ふるさと納税等の新たな手法の導入など、寄附者の増加につながるような取り組みを進める必要がある。 	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・より寄附していただきやすい環境の充実や、新たな手法の導入などについて検討を進める。 	

施策の実施方針	・ふるさと納税の推進
担当課 予算要求ポイント	・ふるさと寄附の推進に必要な経費を計上

財務部 査定の考え方	・要求どおり
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(平成29年度決算)

事業名	25100 統計調査事務費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	6	協働・行政	市長公約
			款	2	総務費		個別分野	3	行財政運営	
			項	5	統計調査費		施策概要	1	効率的・効果的な行政運営の推進	
			目	1	統計調査総務費		根拠計画			
担当課	企画部 企画課	内線	2434							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 統計的視点から市の現状を理解する。 統計調査結果を研究活動等様々な分野で活用する。 政策立案の基礎となる統計調査業務の円滑化を図る。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 統計調査に従事する調査員を確保するとともに、調査員の資質向上のための研修を実施する。 各種統計における高山市の数値を取りまとめ、「高山市のあらまし」として公表する。
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	H28実績	H29実績	H31目標

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H28		H29			
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	140	120	140	140	120	0
特定財源						
国費()						
県費(統計調査員確保対策事業費)	27	27	27	27	27	0
その他()						
一般財源	113	93	113	113	93	0
個票枝番	主な事業内容					
	事務費	140	120	140	120	0

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成30年度予算編成(Action)

(千円)

H30		実施計画額	
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
140	140	140	0
27	27	27	0
			0
113	113	113	0
査定額	説明		
140			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 統計調査員の確保(86人) 統計調査員研修会の開催(1回) 「高山市のあらまし」の印刷・発行(150部)、市ホームページでの公表
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 経済センサス活動調査及び諸調査が適切に実施できた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 統計調査業務を円滑に実施するため、引き続き統計調査員を対象とした研修を実施する。 「高山市のあらまし」を引き続き発行するなかで、さらに見やすくわかりやすくするよう工夫する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H29完了予定

5.平成29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 統計調査員の確保(74人) 統計調査員研修会の開催(1回) 「高山市のあらまし」の印刷・発行(150部)、市ホームページでの公表
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 工業統計調査、就業構造基本調査、住宅・土地統計調査(単位区設定)が適切に実施できた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 統計調査業務を円滑に実施するため、引き続き統計調査員を対象とした研修を実施する。 「高山市のあらまし」を引き続き発行するなかで、さらに見やすくわかりやすくするよう工夫する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

施策の実施方針	
担当課 予算要求ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 円滑な統計調査の実施や「高山市のあらまし」発行に必要な経費を計上

財務部 査定の考え方	<ul style="list-style-type: none"> 要求どおり
市長査定 の考え方	<ul style="list-style-type: none"> 財務部査定のとおりに